

**TTC標準**  
Standard

J T - Q 7 1 3

SCCP フォーマットおよびコード

( SCCP formats and codes )

第 9 版

2005 年 8 月 25 日制定

社団法人  
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。  
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、  
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

## 目次

< 参考 > .....	6
1 . 概 要 .....	12
1.1 メッセージ種別コード .....	12
1.2 フォーマッティング原則 .....	13
1.3 固定長必須部 .....	13
1.4 可変長必須部 .....	13
1.5 オプション部 .....	13
1.6 オプションパラメータ終了オクテット .....	14
1.7 転送順序 .....	14
1.8 予備ビットのコーディング .....	14
1.9 国内用メッセージ種別とパラメータ .....	15
1.10 国際用メッセージ種別とパラメータ .....	16
2 . 基本部のコーディング .....	16
2.1 メッセージ種別のコーディング .....	16
2.2 長さ表示のコーディング .....	17
2.3 ポインタのコーディング .....	17
3 . S C C Pパラメータ .....	17
3.1 オプションパラメータ終了 .....	17
3.2 着信先ローカル参照番号 .....	17
3.3 発信元ローカル参照番号 .....	18
3.4 着信アドレス .....	18
3.4.1 アドレス識別子 .....	19
3.4.2 アドレス .....	20
3.5 発信アドレス .....	32
3.6 プロトコルクラス .....	32
3.7 分割 / 再組立 .....	32
3.8 受信シーケンス番号 .....	32
3.9 順序制御 / 分割 .....	32
3.10 クレジット .....	33
3.11 切断理由 .....	33
3.12 返送理由 .....	33
3.13 リセット理由 .....	33
3.14 誤り理由 .....	33
3.15 拒否理由 .....	33
3.16 データ .....	33
3.17 分 割 .....	34
3.18 ホップカウンタ .....	34
3.19 重要性 .....	34
3.20 ロングデータ .....	34
4 . S C C Pメッセージとコード .....	34
4.1 概 要 .....	34
4.1.1 以下の節において S C C Pメッセージのフォーマットとコーディングが規定される。 .....	34

4.1.2 各パラメータについて、この一覧表は次のものも含む。 .....	34
4.1.3 各々のメッセージに含まれるポインタの数もまた規定されている。 .....	35
4.1.4 各々のメッセージ種別に対し、タイプFのパラメータとタイプVのパラメータのポインタを以下の表で規定される順序に従って送信しなければならない。オプションパラメータブロックを指すポインタは可変パラメータを指す全てのポインタの後に現われる。 .....	35
4.2 接続要求 ( C R ) .....	35
4.3 接続確認 ( C C ) .....	35
4.4 接続拒否 ( C R E F ) .....	35
4.5 切断 ( R L S D ) .....	35
4.6 復旧完了 ( R L C ) .....	35
4.7 データ形式 1 ( D T 1 ) .....	35
4.8 データ形式 2 ( D T 2 ) .....	35
4.9 データ確認 ( A K ) .....	35
4.10 ユニットデータ ( U D T ) .....	35
4.11 ユニットデータサービス ( U D T S ) .....	36
4.12 優先データ ( E D ) .....	36
4.13 優先データ確認 ( E A ) .....	36
4.14 リセット要求 ( R S R ) .....	36
4.15 リセット確認 ( R S C ) .....	37
4.16 プロトコルデータユニット誤り ( E R R ) .....	37
4.17 不活性試験 ( I T ) .....	37
4.18 拡張ユニットデータ ( X U D T ) .....	37
4.19 拡張ユニットデータサービス ( X U D T S ) .....	37
4.20 ロングユニットデータ ( L U D T ) .....	38
4.21 ロングユニットデータサービス ( L U D T S ) .....	38
5 . S C C P 管理メッセージとコード .....	38
付属資料 A 理由パラメータ値のマッピング .....	39
付属資料 B 国際用 S C C P アドレスとフォーマット .....	39
付録 1 : 移動通信用着信アドレス、発信アドレスの構成 .....	40
付録 2 : 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成 .....	41
( 1 つの信号網相互接続点により信号網接続を行う場合 ) .....	41
1 . 第 1 アクセス信号の構成 .....	41
1.1 着アドレスの構成 .....	41
1.2 発アドレスの構成 .....	42
2 . 第 2 アクセス信号以降の信号の構成 .....	44
2.1 着アドレスの構成 .....	44
2.2 発アドレスの構成 .....	44
3 . 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成 .....	44
付録 3 : 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成 .....	47
1 . 第 1 アクセス信号の構成 .....	47
1.1 着アドレスの構成 .....	47
1.2 発アドレスの構成 .....	48
2 . 第 2 アクセス信号以降の信号の構成 .....	50

2.1 着アドレスの構成 .....	50
2.2 発アドレスの構成 .....	50
3 . 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成 .....	50
付録4： C D M A方式携帯自動車電話システム及び第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) のノード間インタフェース信号方式用着信アドレス、発信アドレスの構成 .....	54
1 . 第1アクセス信号の構成 .....	54
1.1 着アドレスの構成 .....	54
1.2 発アドレスの構成 .....	55
2 . 第2アクセス信号の構成 .....	56
2.1 着アドレスの構成 .....	56
2.2 発アドレスの構成 .....	56
3 . C D M A方式携帯自動車電話用着信アドレス、発信アドレスの構成 .....	57

## < 参考 >

### 1. 国際勧告等との関連

本標準は、ITU - T 勧告 1996 年版 Q.713 に準拠したものである。

### 2. 上記勧告等に対する追加事項等

#### 2.1 オプション選択項目

なし

#### 2.2 ナショナルマター項目

本標準は、上記 ITU - T 勧告に対し付録 1「移動通信用着信アドレス、発信アドレスの構成」、付録 2・付録 3「信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成」、および付録 4「CDMA 方式携帯自動車電話システム及び第三代移動通信システム(ANSI evolved network)のノード間インタフェース信号方式用着信アドレス、発信アドレスの構成」を追加している。付録 2 および付録 3 を追加した理由は、JT - Q1218 - a 第 2 版の制定に伴い、信号網接続に必要となる着信アドレス及び発信アドレスを規定する必要があることによる。

また、付録 1 を追加した理由は、付録 2 および付録 3 の追加に伴い、移動通信標準との整合性をとる必要があることによる。

付録 4 を追加した理由は、JJ - 70.11 の制定に伴い、CDMA 方式携帯自動車電話に必要な着信アドレス及び発信アドレスを規定する必要があること。JP - 3GB - N シリーズの制定に伴い、第三代移動通信システム(ANSI evolved network)に必要な着信アドレス、発信アドレスを規定することによる。

#### 2.3 その他

(1) 本標準が上記 ITU - T 勧告に対し、先行して記述している項目はない。

(2) 本標準が上記 ITU - T 勧告に対し、下記の項目を追加記述している。

(a) 1.10 国内用メッセージ種別とパラメータ

TTT 固有仕様パラメータコードと網特有仕様パラメータコード

本項目を追加した理由は、TTT 及び網特有パラメータコードが必要となるため。

(本文中には\*で表示する。)

(b) 3.4.1 アドレス識別子

着信アドレスにグローバルタイトルが用いられる場合、その着信アドレスにはサブシステム番号を含むことが望ましい。これはグローバルタイトルの翻訳に続くメッセージの再フォーマットを単純にする。サブシステム番号が不明なとき、例えば翻訳前などは、サブシステム番号を“0000000”とコード化すべきである。

本項目を追加した理由は、第 2 版との互換性を保証するため(本文中には\*で表示する)。

(c) 3.4.2.3 グローバルタイトル

(注) 全てのグローバルタイトル識別子のサポートは必須ではない。

本項目を追加した理由は、接続形態によって使用すべき最適な識別子が存在するとした事による。

(本文中には\*で表示する。)

(d) 3.4.2.3.2 グローバルタイトル識別子 = 0010

( ) 翻訳タイプのコードを TTT 固有仕様として追加している。

本項目を追加した理由は、移動体通信および信号網接続が必要となるため。(本文中には\*で表示する。)

- ( ) 翻訳タイプのTTC固有仕様と網特有仕様コード割り付け

本項目を追加した理由は、TTCおよび網特有翻訳タイプのコード空間が必要となるため。(本文中には\*で表示する。)

- ( ) 第三世代移動通信システム(ANSI evolved network)のためのコード割り付け

本項目を追加した理由は、JP-3GB-Nシリーズにおける第三世代移動通信システム(ANSI evolved network)に必要なため。(本文中には\*で表示する。)

- (e) 3.4.2.2 サブシステム番号

- ( ) サブシステム番号のコードをTTC固有仕様として追加している。

本項目を追加した理由は、信号網接続が必要となるため。(本文中には\*で表示する。)

- ( ) サブシステム番号のTTC固有仕様と網特有仕様コード割り付け

本項目を追加した理由は、TTCおよび網特有サブシステム番号のコード空間が必要となるため。(本文中には\*で表示する。)

- ( ) 再開通知処理アプリケーションに対するコード割り付け

本項目を追加した理由は、JT-Q1228-bにおける再開通知処理アプリケーションに必要なため。(本文中には\*で表示する。)

- ( ) CDMA方式携帯自動車電話のためのコード割り付け

本項目を追加した理由は、JJ-70.11におけるCDMA方式携帯自動車電話に必要なため。(本文中には\*で表示する。)

- ( ) 第三世代移動通信システム(GSM evolved network)のためのコード割り付け

本項目を追加した理由はJP-3GA-2Xシリーズにおける第三世代移動通信システム(GSM evolved network)に必要なため。(本文中には\*で表示する。)

- (f) 3.4.2.3.3 グローバルタイトル識別子=0011

- ( ) 翻訳タイプのコードをTTC固有仕様として追加している。

本項目を追加した理由は、移動体通信で必要となるため。(本文中には\*で表示する。)

- ( ) 翻訳タイプのTTC固有仕様と網特有仕様コード割り付け

本項目を追加した理由は、TTCおよび網特有翻訳タイプのコード空間が必要となるため。(本文中には\*で表示する。)

- (g) 3.4.2.3.4 グローバルタイトル識別子=0100

- ( ) 翻訳タイプのコードをTTC固有仕様として追加している。

本項目を追加した理由は、携帯電話番号ポータビリティで必要となるため。(本文中には\*で表示する。)

- (3) 本標準が上記ITU-T勧告に対し、下記の項目についての記述を削除している。

- (a) 削除しているメッセージと削除の理由を表1に示す。

- (b) 削除しているパラメータと削除の理由を表2に示す。

なお、上記ITU-T勧告では規定しているが本標準では規定しない事項で、本標準の理解を助けるために記載しているものは、#で表示する。

- (4) 本標準が上記ITU-T勧告に対し、下記の項目についての記述を変更している。

- (a) 3.4.2.1 信号局コード

本項目を変更した理由は、標準JT-Q704で規定する内容に従うとした事による。(本文中には\*で表示する。)

## 2.4 原勧告との章立て構成比較表

上記国際勧告との章立て構成の相違はない。

ただし、本標準は、上記ITU-T勧告に対し付録1「移動通信用着信アドレス、発信アドレスの構成」、付録2「信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成（1つの信号網相互接続点により信号網接続を行う場合）」、付録3「信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成」、および付録4「CDMA方式携帯自動車電話システム及び第三代移動通信システム(ANSI evolved network)のノード間インタフェース信号方式用着信アドレス、発信アドレスの構成」を追加している。

## 3. 改版の履歴

版数	制定日	改版の内容
第1版	1992年 4月28日	制定
第2版	1994年 4月27日	MAP(JJ-70.10)標準制定に伴い、対応するサブシステム番号およびグローバルタイトルの翻訳タイプを追加した。
第3版	1996年 4月24日	JT-Q1218-a第2版の制定に伴い、分解/再組立手順に必要なフォーマットとコード、および付録を追加した。
第4版	1997年 4月23日	ITU-T勧告Q.713の内容が拡充され1996年版勧告となったことに伴い、JT-Q713の内容をこれに適合させた。
第5版	1998年 4月28日	JT-Q1228-bの制定に伴い、再開通知処理アプリケーションに必要なサブシステム番号を追加した。サブシステム番号の信号網接続用INAPを国内用INAPに変更した。また、返送理由のホップカウンタ違反をITU-T勧告に適合させた。
第6版	1998年11月26日	信号網で接続した網間で、複数の信号網相互接続点でのGルーチングが可能となるように、翻訳タイプおよび付録3を追加した。付録2の表題を付録3と区別するように変更した。付録2の着アドレスの構成のオクテット数値を適正な値に変更した。付録2のアドレス構成に「ディジット」を明示した。付録2の用途をXUDT/XUTDSとするよう、発アドレスにおける信号局コードの説明文から、UDT/UDTSを削除した。
第7版	1999年4月22日	JJ-70.11の制定に伴い、CDMA方式携帯自動車電話システムノード間インタフェース信号方式に必要なサブシステム番号と翻訳タイプを追加した。また、付表3-2の誤表記を訂正した。



第8版	2000年4月20日	<p>JP-3GA-2Xシリーズの制定に伴い第三代移動通信システム(GSM evolved network)ノード間インタフェース信号方式に必要なサブシステム番号を追加した。</p> <p>JP-3GB-Nシリーズの制定に伴い第三代移動通信システム(ANSI evolved network)ノード間インタフェース信号方式に必要な翻訳タイプの追加、及び付録4への追加修正を行った。</p>
第9版	2005年8月25日	<p>携帯電話番号ポータビリティによるSCCP中継のため、「GT識別子:0100」の翻訳タイプを追加した。</p>

#### 4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

#### 5. その他

なし

#### 6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

表1 T T C 標準で削除するメッセージ

メッセージ種別	略称	ITU-Tでの 節番号	コード	削除する理由
接続要求	CR	4.2	00000001	コネクションオリエンテッド サービスを標準化の対象外と したため
接続確認	CC	4.3	00000010	
接続拒否	CREF	4.4	00000011	
切断	RLSD	4.5	00000100	
復旧完了	RLC	4.6	00000101	
データ形式 1	DT1	4.7	00000110	
データ形式 2	DT2	4.8	00000111	
データ確認	AK	4.9	00001000	
優先データ	ED	4.12	00001011	
優先データ確認	EA	4.13	00001100	
リセット要求	RSR	4.14	00001101	
リセット確認	RSC	4.15	00001110	
プロトコルデータ ユニット誤り	ERR	4.16	00001111	
不活性試験	IT	4.17	00010000	
ロングユニットデータ	LUDT	4.20	00010011	
ロングユニットデータ サービス	LUOTS	4.21	00010100	
サブシステム許容	SSA	5.3	00000001	S C C P 管理を標準化の対象 外としたため
サブシステム禁止	SSP	5.3	00000010	
サブシステム状態試験	SST	5.3	00000011	
サブシステムサービス 停止要求	SOR	5.3	00000100	
サブシステムサービス 停止許可	SOG	5.3	00000101	

表2 T T C 標準で削除するパラメータ

パラメータ名	ITU-Tでの 節番号	コード	削除する理由
着信先ローカル参照番号	3.2	00000001	コネクションオリエンテッド サービスを標準化の対象外と したため
発信元ローカル参照番号	3.3	00000010	
分割 / 再組立	3.7	00000110	
受信シーケンス番号	3.8	00000111	
順序制御 / 分割	3.9	00001000	
クレジット	3.10	00001001	
切断理由	3.11	00001010	
リセット理由	3.13	00001100	
誤り理由	3.14	00001101	
拒否理由	3.15	00001110	
重要性	3.19	00010010	
ロングデータ	3.20	00010011	JT-Q2210 に準拠した MTP に基づ く SCCP 機能を標準化の対象外 としたため
オプションパラメータ終了	5.2		S C C P 管理を標準化の対象 外としたため
影響されるサブシステム番号	5.2		
影響される信号局コード	5.2		
サブシステム多重化識別子	5.2		
輻輳レベル	5.2		

## 1. 概要

本標準は、

SCCP コネクションオリエンテッドサービス、

#

SCCP コネクションレスサービス

及び SCCP 管理

#

をサポートするために、SCCP メッセージのフォーマットとコードを規定する。

SCCP メッセージは、適当な MTP-転送要求プリミティブあるいは MTP-転送指示プリミティブのユーザデータパラメータとして MTP-SAP を通じて SCCP と MTP の間を転送される (JT-Q701 表 5-1 参照)。

注: MTP-転送プリミティブは、ユーザデータパラメータに加えて以下に示す 4 パラメータを含む (JT-Q701 表 5-1 参照)。

- ・ 16 ビットの情報で構成された OPC (これは、MTP の標準的なルーチングラベルで運ばれるであろう) \*
- ・ 16 ビットの情報で構成された DPC (これは、MTP の標準的なルーチングラベルで運ばれるであろう) \*
- ・ 4 ビットの情報で構成された SLS。もし、MTP の SDU の順序保証サービスが要求されるとき、SCCP は同じシーケンス制御パラメータで、かつ同じ着アドレスパラメータを含む全ての SDU に対して同じ SLS 値を使うべきである。
- ・ SIO に相当する情報。SCCP のためのサービス表示は、“ 0 0 1 1 ” にコード化される (JT-Q704、節 14.2.1 参照)。

SCCP メッセージは、以下の部分で構成される (図 1 - 1 / JT - Q 7 1 3 参照)。

- メッセージ種別コード
- 固定長必須部
- 可変長必須部
- オプション部 (固定長及び可変長フィールドを含み得る)

これらの部分の説明を次節以降に示す。

SCCP 管理のメッセージ及びコードは、本標準の第 5 章に示されている。

#

ルーチングラベル
メッセージ種別コード
固定長必須部
可変長必須部
オプション部

図 1 - 1 / JT - Q 7 1 3 レイアウト概要  
(ITU-T Q.713)

### 1.1 メッセージ種別コード

メッセージ種別コードは、1 オクテットのフィールドで構成され、全てのメッセージに対して必須である。メッセージ種別コードは、各 SCCP メッセージの機能及びフォーマットを一義的に定義している。メッセージ種別コードの割付け及び本標準内でのそれに関する適切な説明のリファレンスを表 2 - 1 / JT - Q 7 1 3 に示す。また、表 2 - 1 / JT - Q 7 1 3 は、また種々のメッセージ種別の、関連するプロトコルクラスへの適用可能性の表示も含んでいる。

## 1.2 フォーマット原則

各メッセージは、第3章に記載され記述されている多くのパラメータを含んでいる。各パラメータは、1オクテットで表わされる「名称」を持っている（第3章参照）。名称はオプションパラメータに含まれる。パラメータの長さは、固定長又は可変長であり、以下に述べる様に、各パラメータに対し、1オクテットの「長さ表示」を含み得る。

ロングデータパラメータの長さ表示は、下位オクテット、上位オクテットの順序に2オクテットにするべきである。 #

その詳細なフォーマットは、第4章で述べる様に、メッセージ種別毎に一義的に定義される。 #

SCCPメッセージフォーマットの概要は図1-2/JT-Q713に示される。

## 1.3 固定長必須部

特定のメッセージに対し、必須で固定長のパラメータは、固定長必須部に含まれる。パラメータの位置、長さ、及び順序は、メッセージ種別毎に一義的に定義されている。従って、パラメータ名及び長さ表示は、このメッセージには含まれない。

## 1.4 可変長必須部

可変長の必須パラメータは、可変長必須部に含まれる。各パラメータの名称及びポインタが送出される順序は、メッセージ種別によって決まっている。従って、そのメッセージには、パラメータの名称は含まれない。1つのポインタは、各パラメータの開始位置を表すために用いられる。この為、パラメータは、ポインタとは異なる順序で送られてもよい。各ポインタは、1オクテットとして

、あるいはLUDTまたはLUPTSメッセージの場合2オクテットとして #

コード化される。

2オクテットポインタの場合、下位オクテットは上位オクテットの前に転送されるべきである。 #

ポインタのコード化の詳細な方法については、節2.3に述べられている。パラメータの数及びポインタの数は、メッセージ種別毎に一義的に定義されている。

1つのポインタは、また、オプション部の開始位置を表すためにも用いられる。もし、そのメッセージ種別でオプション部の使用が全く許容されていない場合は、このポインタは存在しない。もし、そのメッセージ種別ではオプション部はあり得るが、そのメッセージにはオプション部が全くない場合、“オール0”がはいっているポインタフィールドが使用される。注)

注): 現状、オプションパラメータが定義されていないが、オプション部の先頭に1つのポインタを含むメッセージ(RSRとERR)が存在する。 #

全てのポインタは、可変長必須部の先頭で連続的に送出される。各パラメータは、パラメータ長さ表示とそれに続くそのパラメータの内容を含む。 #

各々の可変長必須部の先頭とオプション部の先頭を示す全てのポインタは、発ノードにおいて生成するメッセージの中で、パラメータが連続しており、パラメータ間に“ギャップ”が残っていないことを保証するべきである。受信側での“ギャップ”の(準正常)処理は、JT-Q714 1.1.4.5節に規定されている。ギャップは最後のポインタと最初の変長必須部の間で生成されてはならない。最終パラメータの後にさらにオクテットを追加することはできない。上述の全てのケースにおいてはプロトコルエラーは生じない。

## 1.5 オプション部

オプション部は、特定のメッセージ種別において、現れても、現れなくてもよい連続したブロックのパラメータから構成される。オプション部はポインタの後、あるいは可変長必須部の後から開始する。これには、固定長及び可変長の両方が含まれ得る。オプションパラメータは、任意の順序で転送され得る。各オ

プションパラメータは、パラメータ名（1オクテット）及び長さ表示（1オクテット）とそれに続くパラメータの内容を含む。

#### 1.6 オプションパラメータ終了オクテット

全てのオプションパラメータが送られた後、“オール0”の「オプションパラメータ終了」オクテットが転送される。このオクテットは、オプションパラメータがメッセージ内に存在する場合のみ含まれる。オプションパラメータ終了オクテットは、メッセージの終了を検出するために使用するべきではない。

#### 1.7 転送順序

パラメータは、複数オクテットから構成される為、そのフォーマットは、オクテットのスタックとして与えられる。最初に送られるオクテットは、スタックの先頭にあるものであり、最後のオクテットは、スタックの終りにある（図1-2/JT-Q713参照）。

#### 1.8 予備ビットのコーディング

勧告Q.700とQ.1400で規定されている一般ルールに従い、予備ビットは発信ノードにおいて、もし別のやり方が表示されていないならば“0”でコード化される。予備フィールドの処理は、JT-Q.714 節1.1.4.4に規定されている。

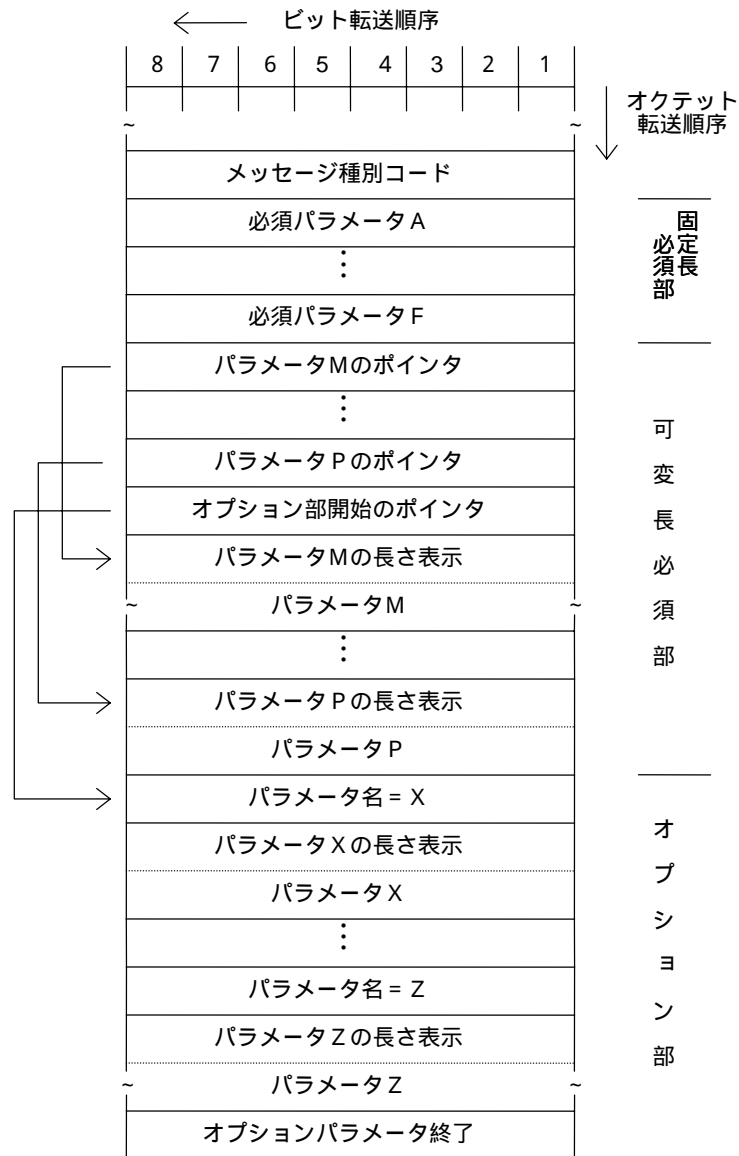


図1 - 2 / JT - Q713 SCCPメッセージフォーマットの概要 (ITU-T Q.713)

### 1.9 国内用メッセージ種別とパラメータ

メッセージ種別コードとパラメータコードが国内用の目的の為に必要な場合、コードは“11111110”で始まる大きいコードから降順に選択されるべきである。コード“11111111”は、将来に備えて留保される。

コード“11111110”から“11110000”はTTC固有仕様に使用する。網特有仕様は、コード“11101111”から降順に使用する(図1 - 3 / JT - Q713参照)。

\*  
\*

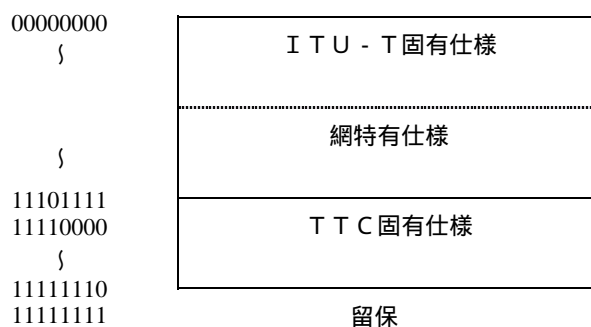


図 1 - 3 / J T - Q 7 1 3 コード空間の使用法

\*

1.10 国際用メッセージ種別とパラメータ

#

2 . 基本部のコーディング

2.1 メッセージ種別のコーディング

メッセージ種別のコーディングは、表 2 - 1 / J T - Q 7 1 3 に示される。

表 2 - 1 / J T - Q 7 1 3 S C C P メッセージ種別  
(ITU-T Q.713 )

メッセージ種別		クラス				節	コード	
		0	1	2	3			
CR	接続要求			X	X	4.2	0 0 0 0	0 0 0 1
CC	接続確認			X	X	4.3	0 0 0 0	0 0 1 0
CREF	接続拒否			X	X	4.4	0 0 0 0	0 0 1 1
RLSD	切断			X	X	4.5	0 0 0 0	0 1 0 0
RLC	復旧完了			X	X	4.6	0 0 0 0	0 1 0 1
DT1	データ形式 1			X		4.7	0 0 0 0	0 1 1 0
DT2	データ形式 2				X	4.8	0 0 0 0	0 1 1 1
AK	データ確認				X	4.9	0 0 0 0	1 0 0 0
UDT	ユニットデータ	X	X			4.10	0 0 0 0	1 0 0 1
UDTS	ユニットデータサービス	x <sup>1</sup>	x <sup>1</sup>			4.11	0 0 0 0	1 0 1 0
ED	優先データ				X	4.12	0 0 0 0	1 0 1 1
EA	優先データ確認				X	4.13	0 0 0 0	1 1 0 0
RSR	リセット要求				X	4.14	0 0 0 0	1 1 0 1
RSC	リセット確認				X	4.15	0 0 0 0	1 1 1 0
ERR	プロトコルデータユニット誤り			X	X	4.16	0 0 0 0	1 1 1 1
IT	不活性試験			X	X	4.17	0 0 0 1	0 0 0 0
XUDT	拡張ユニットデータ	X	X			4.18	0 0 0 1	0 0 0 1
XUDTS	拡張ユニットデータサービス	x <sup>1</sup>	x <sup>1</sup>			4.19	0 0 0 1	0 0 1 0
LUDT	ロングユニットデータ	X	X			4.20	0 0 0 1	0 0 1 1
LUOTS	ロングユニットデータサービス	x <sup>1</sup>	x <sup>1</sup>			4.21	0 0 0 1	0 1 0 0

#

#

#

#

#

#

#

#

#

#

#

#

#

#

#

#



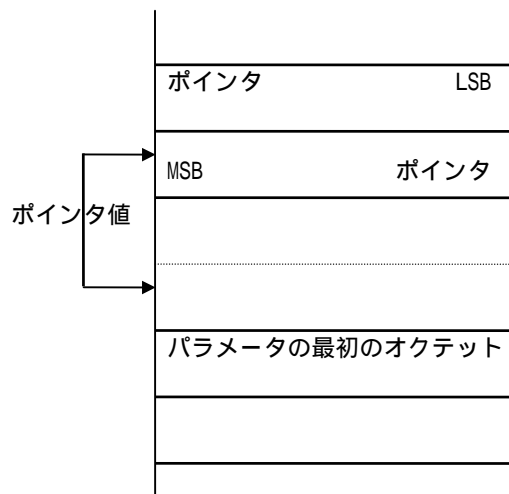
X : 本プロトコルクラス中のメッセージ種別  
 x<sup>1</sup> : プロトコルクラスパラメータは欠如している

## 2.2 長さ表示のコーディング

長さ表示フィールドは、パラメータの内容のフィールドのオクテット数を、2進符号で表示したものである。長さ表示は、パラメータ名オクテット、あるいは長さ表示オクテットを含まない。

## 2.3 ポインタのコーディング

ポインタ値(2進数)は、以下の図に示すようにポインタの最上位オクテット自身(そのオクテットを含む)から、そのポインタ注)に関連したパラメータの最初のオクテット(そのオクテットは含まない)までのオクテット数を表わす。



ポインタ値の“オール0”は、オプションパラメータの場合、オプションパラメータが全く無いことを示すために用いられる。

注) 例えば、“00000001”のポインタ値は、関連するパラメータがポインタの最上位オクテットの次のオクテットから始まることを表す。“00001010”のポインタ値は、そのポインタの最上位オクテット(そのオクテットを含む)とそのポインタに関連するパラメータの最初のオクテット(そのオクテットは含まない)との間に10オクテットの情報が存在する事を表す。

2オクテットのポインタ値“00000000 00001010”は、ポインタの最上位オクテット(そのオクテットを含む)とそのポインタに関連するパラメータの最初のオクテット(そのオクテットは含まない)との間に10オクテットの情報が存在することを示す。 # # #

## 3 . S C C Pパラメータ

パラメータ名コードを表3 - 1 / J T - Q 7 1 3に示す。これにはまた各パラメータが記述されている節番号が示されている。

### 3.1 オプションパラメータ終了

「オプションパラメータ終了」パラメータフィールドは、オール0の1オクテットを含む。

### 3.2 着信先ローカル参照番号

#

表3 - 1 / JT - Q 7 1 3 S C C Pパラメータ名コード  
(ITU-T Q.713)

パラメータ名	節	パラメータ名コード		
		8 7 6 5	4 3 2 1	
オプションパラメータ終了	3.1	0 0 0 0	0 0 0 0	
着信先ローカル参照番号	3.2	0 0 0 0	0 0 0 1	#
発信元ローカル参照番号	3.3	0 0 0 0	0 0 1 0	#
着信アドレス	3.4	0 0 0 0	0 0 1 1	
発信アドレス	3.5	0 0 0 0	0 1 0 0	
プロトコルクラス	3.6	0 0 0 0	0 1 0 1	
分割 / 再組立	3.7	0 0 0 0	0 1 1 0	#
受信シーケンス番号	3.8	0 0 0 0	0 1 1 1	#
順序制御 / 分割	3.9	0 0 0 0	1 0 0 0	#
クレジット	3.10	0 0 0 0	1 0 0 1	#
切断理由	3.11	0 0 0 0	1 0 1 0	#
返送理由	3.12	0 0 0 0	1 0 1 1	
リセット理由	3.13	0 0 0 0	1 1 0 0	#
誤り理由	3.14	0 0 0 0	1 1 0 1	#
拒否理由	3.15	0 0 0 0	1 1 1 0	#
データ	3.16	0 0 0 0	1 1 1 1	
分割	3.17	0 0 0 1	0 0 0 0	
ホップカウンタ	3.18	0 0 0 1	0 0 0 1	
重要性	3.19	0 0 0 1	0 0 1 0	#
ロングデータ	3.20	0 0 0 1	0 0 1 1	#

### 3.3 発信元ローカル参照番号

#

### 3.4 着信アドレス

「着信アドレス」は可変長パラメータである。その構成を図3 - 1 / JT - Q 7 1 3に示す。

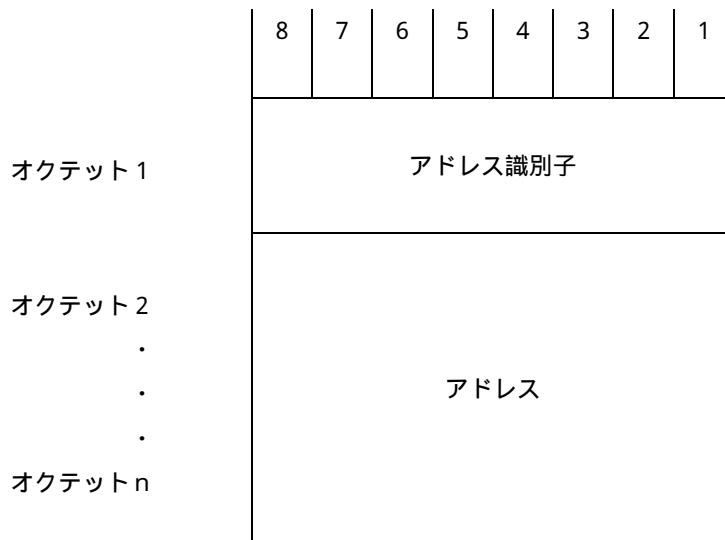


図3 - 1 / JT - Q 7 1 3 発信 / 着信アドレス  
(ITU-T Q.713)

### 3.4.1 アドレス識別子

「アドレス識別子」はアドレスフィールド内のアドレス情報の種別を示す(図3 - 2 / JT - Q 7 1 3 参照)。アドレスは次の要素の1つか複数の組み合わせからなる。

- 信号局コード
- グローバルタイトル(例えばダイヤルされた数字)
- サブシステム番号

8	7	6	5	4	3	2	1
国内使用 のため留保	ルーチング 識別子	グローバルタイトル 識別子				SSN 識別子	信号局コード 識別子

図3 - 2 / JT - Q 7 1 3 アドレス識別子コード化  
(ITU-T Q.713)

ビット1の“1”はアドレスに信号局コードが含まれていることを示す。

ビット2の“1”はアドレスにサブシステム番号が含まれていることを示す。

アドレス識別子オクテットのビット3 - 6はグローバルタイトル識別子(GTI)である。それは次のようにコード化される。

ビット	6	5	4	3	
	0	0	0	0	グローバルタイトルは含まれない
	0	0	0	1	グローバルタイトルはアドレス識別子の種別のみ含む
	0	0	1	0	グローバルタイトルは翻訳タイプのみ含む

0 0 1 1	グローバルタイトルは翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系を含む
0 1 0 0	グローバルタイトルは翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
0 1 0 1	} 予備 (国際使用)
0 1 1 1	
1 0 0 0	} 予備 (国内使用)
1 1 1 0	
1 1 1 1	拡張用に留保

着信アドレスにグローバルタイトルが用いられる場合、その着信アドレスにはサブシステム番号を含むことが望ましい。これはグローバルタイトルの翻訳に続くメッセージの再フォーマットを単純にする。サブシステム番号が不明なとき、例えば翻訳前などは、サブシステム番号を“00000000”とコード化すべきである。 \*  
\*  
\*  
\*

アドレス識別子オクテットのビット7は、ルーチングにどのアドレス要素を使用するかを識別するためのルーチング情報を含み、以下のようにコーディングされる。

ビット 7

- 1 サブシステム番号によるルーチング
- 0 グローバルタイトルによるルーチング

アドレス識別子オクテットのビット8は、国内使用のため留保する。  
また、国際網においては、常に0が設定される。 #

### 3.4.2 アドレス

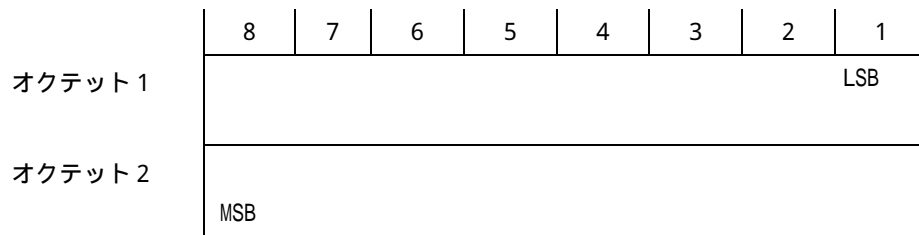
数種の要素がある場合、その順番は図3-3/JT-Q713に示すとおり、信号局コード、サブシステム番号、グローバルタイトルの順である。

8	7	6	5	4	3	2	1
信号局コード							
サブシステム番号							
グローバルタイトル							

図3-3/JT-Q713 アドレス要素の順序  
(ITU-T Q.713)

### 3.4.2.1 信号局コード

信号局コードの場合、それは2オクテットで表現される(図3-4/JT-Q713参照)。



\*

\*

図3-4/JT-Q713 信号局コードのコード化  
(ITU-T Q.713)

### 3.4.2.2 サブシステム番号

サブシステム番号(SSN)はSCCPのユーザ機能を示し、使用される場合次のような1オクテットにコード化される。

	ビット	8	7	6	5	4	3	2	1	
ITU - T固有領域		0	0	0	0	0	0	0	0	SSN不明 / 未使用
		0	0	0	0	0	0	0	1	SCCP管理 #
		0	0	0	0	0	0	0	1	ITU - T用のため留保
		0	0	0	0	0	0	1	1	ISDNユーザパート
		0	0	0	0	0	1	0	0	OMAP #
		0	0	0	0	0	1	0	1	MAP (移动通信応用部)
		0	0	0	0	0	1	1	0	HLR
		0	0	0	0	0	1	1	1	VLR
		0	0	0	0	1	0	0	0	MSC
		0	0	0	0	1	0	0	1	EIC
		0	0	0	0	1	0	1	0	AUC
		0	0	0	0	1	0	1	1	ISDN 付加サービス #
		0	0	0	0	1	1	0	0	国際用に留保 #
		0	0	0	0	1	1	0	1	B-ISDN エッジ - エッジアプリケーション #
		0	0	0	0	1	1	1	0	TC 試験応答 *
		0	0	0	0	1	1	1	1	} 国際用に留保
TTC固有領域		0	0	1	0	0	0	0	0	} 予備 *
		1	0	0	0	0	0	0	0	*
		1	0	0	0	0	0	0	1	} 予備 *
		1	0	0	0	1	1	1	1	*
		1	0	0	1	0	0	0	0	} 第三世代移动通信システム (GSM evolved network)用 *
		1	0	0	1	0	0	0	1	
		1	0	0	1	0	0	1	0	
		1	0	0	1	0	0	1	1	
		1	0	0	1	0	1	0	0	
		1	0	0	1	0	1	0	1	
		1	0	0	1	0	1	1	0	
		1	0	0	1	0	1	1	1	
		1	0	1	1	1	1	0	0	} 予備 *
	1	0	1	1	1	1	0	1	*	
	1	0	1	1	1	1	0	1	SMS *	
	1	0	1	1	1	1	1	0	再開通知処理アプリケーション *	
	1	0	1	1	1	1	1	1	国内用 INAP *	
網特有領域	1	1	0	0	0	0	0	0	} 予備 *	
	1	1	1	1	1	1	1	1	0	*
	1	1	1	1	1	1	1	1	拡張用に留保	

網特有サブシステム番号は“ 1 1 1 1 1 1 0 ”で始まる降順で割当られるべきである。

### 3.4.2.3 グローバルタイトル

グローバルタイトル (GT) のフォーマットは可変長である。図3 - 5 / JT - Q 7 1 3、図3 - 7 / JT - Q 7 1 3、図3 - 8 / JT - Q 7 1 3、図3 - 9 / JT - Q 7 1 3にグローバルタイトルの4つのフォーマットを示す。

\*

(注) 全てのグローバルタイトル識別子のサポートは必須ではない。

#### 3.4.2.3.1 グローバルタイトル識別子 = 0 0 0 1

グローバルタイトル識別子が“ 0 0 0 1 ”の場合、グローバルタイトルのフォーマットは図3 - 5 / JT - Q 7 1 3に示される。

8	7	6	5	4	3	2	1	
奇 / 偶	アドレス識別子の種別						オクテット 1	
アドレス情報							オクテット 2 と 続き	

図3 - 5 / JT - Q 7 1 3 識別子“ 0 0 0 1 ”に対するグローバル  
(ITU-T Q.713) タイトル・フォーマット

オクテット1の1ビットから7ビットまではアドレス識別子の種別 (NAI) であり、次のようにコード化される。

ビット	7	6	5	4	3	2	1	
	0	0	0	0	0	0	0	予備
	0	0	0	0	0	0	1	加入者番号
	0	0	0	0	0	1	0	国内使用のため留保
	0	0	0	0	0	1	1	国内番号
	0	0	0	0	1	0	0	国際番号
	0	0	0	0	1	0	1	} 予備
					から			
	1	1	1	1	1	1	1	

オクテット1の8ビット目は奇数 / 偶数識別子を含み、次のようにコード化される。

ビット	8	
	0	アドレス数字が偶数個
	1	アドレス数字が奇数個

オクテット2とそれ以降に、図3 - 6 / JT - Q 7 1 3に示すようにアドレス数字による番号と必要に応じてフィラーを含む。

8	7	6	5	4	3	2	1	
第2数字				第1数字				オクテット2
第4数字				第3数字				オクテット3
...								
フィラー (必要な場合)				第n数字				オクテットm

図3 - 6 / JT - Q 7 1 3 グローバルタイトルのアドレス情報 (BCD コーディング則の場合)  
(ITU-T Q.713)

各アドレス数字は次のようにコード化される。

0 0 0 0	数字の0	
0 0 0 1	数字の1	
0 0 1 0	数字の2	
0 0 1 1	数字の3	
0 1 0 0	数字の4	
0 1 0 1	数字の5	
0 1 1 0	数字の6	
0 1 1 1	数字の7	
1 0 0 0	数字の8	
1 0 0 1	数字の9	
1 0 1 0	予備	
1 0 1 1	コード11	#
1 1 0 0	コード12	#
1 1 0 1	予備	
1 1 1 0	予備	
1 1 1 1	ST	#

アドレス数字が奇数個の場合、フィラーコード“0 0 0 0”が最後のアドレス数字の後に挿入される。

#### 3.4.2.3.2 グローバルタイトル識別子 = 0 0 1 0

図3 - 7 / JT - Q 7 1 3はグローバルタイトル識別子が“0 0 1 0”の場合のフォーマットを示している。

翻訳タイプ (TT) は、適当な翻訳機能にメッセージを送信するために使用される1オクテットフィールドである。



8	7	6	5	4	3	2	1	
翻訳タイプ								オクテット1
グローバルタイトルのアドレス情報								オクテット2と続き

図3 - 7 / JT - Q 7 1 3 識別子“0010”に対するグローバル  
(ITU-T Q.713) タイトル・フォーマット

このオクテットが使用されない時には、“00000000”にコード化される。  
ネットワーク間サービスの翻訳タイプは、“00000001”から昇順にコード化される。ネットワーク  
特有サービスは、“11111110”から降順にコード化される。  
“11111111”コードは、拡張用に留保される。

#  
#

グローバルタイトルのフォーマット“0010”の場合は、国内用のみであり、国際用には使用されない。  
グローバルタイトルのフォーマット“0010”の割り当ては国内マターである。

このグローバルタイトルのフォーマット“0010”の場合に、翻訳タイプは、アドレス情報をコード化するのに使用されるコーディング体系と番号計画をも暗示する。

コード空間の割り付けおよびTTC固有仕様としてのコード化を以下のとおりとする。

	0 0 0 0 0 0 0 0	不明		*	
ITU - T固有領域	0 0 0 0 0 0 0 1	}	国際サービス	*	
	0 0 1 1 1 1 1 1			*	
	0 1 0 0 0 0 0 0	}	予備	*	
	0 1 1 1 1 1 1 1			*	
TTC固有領域	1 0 0 0 0 0 0 0	}	予備	*	
	1 1 0 1 1 1 1 1			*	
	1 1 1 0 0 0 0 0	}	E.164 to SCP MDN(E.164) to HLR IMSI(E.212) to HLR IMSI(E.212) to MC	(第三世代移動通信システム (ANSI evolved network)用)	*
	1 1 1 0 0 0 0 1				*
	1 1 1 0 0 0 1 0				*
	1 1 1 0 0 0 1 1				*
	1 1 1 0 0 1 0 0		MIN to HLR (CDMA 方式携帯自動車電話用)	*	
	1 1 1 0 0 1 0 1		MIN to MC (CDMA 方式携帯自動車電話用)	*	
	1 1 1 0 0 1 1 0		事業者識別コード + 信号網相互接続点選択 情報 + サービス識別情報 (信号網接続)	*	
	1 1 1 0 0 1 1 1		事業者識別コード + 信号網相互接続点選択 情報 + 網内情報 (信号網接続)	*	
	1 1 1 0 1 0 0 0		事業者識別コード + サービス識別情報 (信号網接続)	*	
	1 1 1 0 1 0 0 1		事業者識別コード + 網内情報 (信号網接続)	*	
	1 1 1 0 1 0 1 0		保留	*	
	1 1 1 0 1 0 1 1		保留	*	
	1 1 1 0 1 1 0 0		保留	*	
	1 1 1 0 1 1 0 1		保留	*	
	1 1 1 0 1 1 1 0		保留	*	
	1 1 1 0 1 1 1 1		保留	*	
	網特有領域	1 1 1 1 0 0 0 0			*
1 1 1 1 1 1 1 0				*	
1 1 1 1 1 1 1 1			保留	*	

### 3.4.2.3.3 グローバルタイトル識別子 = 0 0 1 1

図3 - 8 / JT - Q 7 1 3はグローバルタイトルが“ 0 0 1 1 ”の場合のフォーマットを示している。

8	7	6	5	4	3	2	1	
翻訳タイプ								オクテット 1
番号計画				コーディング体系				オクテット 2
グローバルタイトルのアドレス情報								オクテット 3 と 続き

図3 - 8 / JT - Q 7 1 3 識別子“ 0 0 1 1 ”に対するグローバル  
(ITU-T Q.713) タイトル・フォーマット

このグローバルタイトルフォーマット( 0 0 1 1 )に対するコーディングと翻訳タイプの定義は、今後の課題である。

#  
#

番号計画は以下のようにコード化される。

ビット 8 7 6 5

0 0 0 0	未定
0 0 0 1	ISDN / 電話番号計画 ( 勧告 E . 1 6 3 と E . 1 6 4 )
0 0 1 0	包括的な番号計画
0 0 1 1	データ番号計画 ( 勧告 X . 1 2 1 )
0 1 0 0	テレックス番号計画 ( 勧告 F . 6 9 )
0 1 0 1	海上移動体番号計画 ( 勧告 E . 2 1 0、2 1 1 )
0 1 1 0	陸上移動体番号計画 ( 勧告 E . 2 1 2 )
0 1 1 1	ISDN / 移動体の番号計画 ( 勧告 E . 2 1 4 )
1 0 0 0	} 予備
から	
1 1 0 1	
1 1 1 0	私設網または網特有番号計画
1 1 1 1	留保

コーディング体系は以下のようにコード化される。

ビット	4	3	2	1	
	0	0	0	0	未定
	0	0	0	1	B C D , 数字が奇数個
	0	0	1	0	B C D , 数字が偶数個
	0	0	1	1	国内特有
	0	1	0	0	} 予備
		から			
	1	1	1	0	
	1	1	1	1	留保

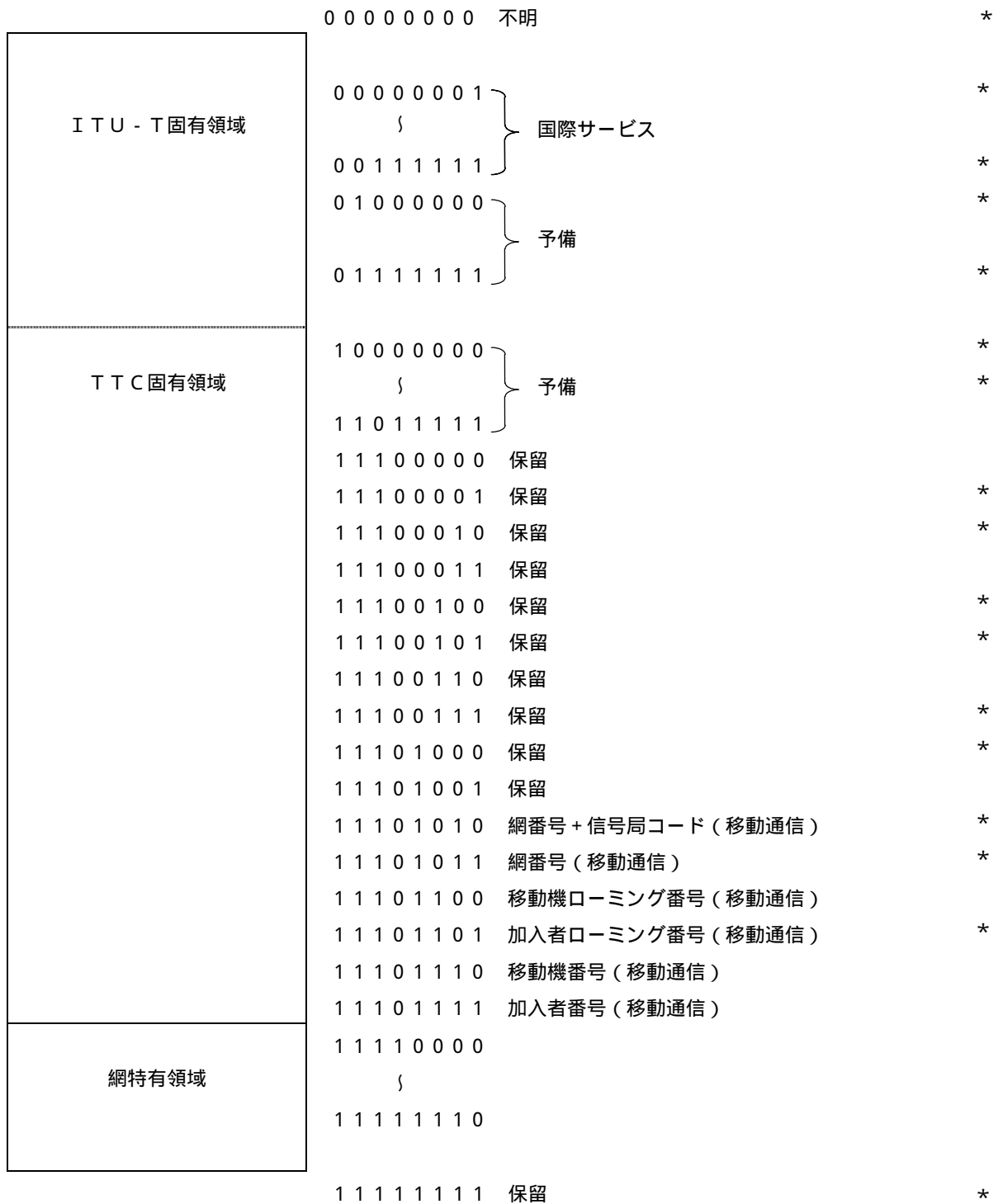
コーディング体系が2進10進数の場合には、オクテット4から始まるグローバルタイトルアドレス情報が、図3 - 6 / J T - Q 7 1 3のようにコード化される。

グローバルタイトルが0 0 1 1のために割り当てることができる翻訳タイプの範囲は、次のように示される。

\*

\*

なお、コード空間の割り付けおよびTTC固有仕様としてのコード化を以下の通りとする。



### 3.4.2.3.4 グローバルタイトル識別子 = 0 1 0 0

図3 - 9 / JT - Q 7 1 3はグローバルタイトルが“ 0 1 0 0 ”の場合のフォーマットを示している。

8	7	6	5	4	3	2	1	
翻訳タイプ								オクテット 1
番号計画				コーディング体系				オクテット 2
予備		アドレス識別子の種別						オクテット 3
アドレス情報								オクテット 4 と続き

図 3 - 9 / J T - Q 7 1 3 識別子 “ 0 1 0 0 ” に対するグローバルタイトル・フォーマット (ITU-T Q.713)

このグローバルタイトルフォーマット “ 0 1 0 0 ” は、国際用に用いられる。“ 翻訳タイプ ”、“ 番号計画 ”、“ アドレス識別子の種別 ”、“ コーディング体系 ” の許容される組み合わせは、付属資料 B に記載される。

「番号計画」と「コーディング体系」のフィールドについては節 3.4.2.3.3 に述べた通りである。「アドレス識別子の種別」についても節 3.4.2.3.1 に述べた通りである。

コーディング体系が 2 進化 1 0 進数の場合、4 オクテット目から始まるグローバルタイトル値が、図 3 - 6 / J T - Q 7 1 3 のようにコード化される。

グローバルタイトルが 0 1 0 0 のために割り当てることができる翻訳タイプの範囲は、次のように示される。

ビット	8 7 6 5 4 3 2 1	値(10進法)		
	0 0 0 0 0 0 0 0	0		不明
	0 0 0 0 0 0 0 1	1	}	国際サービス
	~	~		
	0 0 1 1 1 1 1 1	6 3		
	0 1 0 0 0 0 0 0	6 4	}	予備
	~	~		
	0 1 1 1 1 1 1 1	1 2 7		
	1 0 0 0 0 0 0 0	1 2 8	}	予備(国内使用)
	~	~		
	1 1 0 1 1 1 1 0	2 2 2		
	1 1 0 1 1 1 1 1	2 2 3		ルーティング番号+加入者番号(移動通信)
	1 1 1 0 0 0 0 0	2 2 4	}	保留(国内使用)
	~	~		
	1 1 1 0 1 1 1 1	2 3 9		
	1 1 1 1 0 0 0 0	2 4 0	}	網特有領域
	~	~		
	1 1 1 1 1 1 1 0	2 5 4		
	1 1 1 1 1 1 1 1	2 5 5		拡張のため留保

\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*

### 3.5 発信アドレス

「発信アドレス」は可変長のパラメータである。その構造は「着信アドレス」と同様である。

旧版との整合性確保のために、SCCP は、アドレス識別オクテットのみで構成され、ビット 1 から 7 が全て 0 でコード化された発信アドレスパラメータを含む(X)UDT メッセージを受信あるいは転送できるべきである。

しかしながら、発信ノードは、ビット 1 から 7 が全て 0 にコード化されたアドレス識別オクテットをコード化しないことが推奨されている。さらなる情報(グローバルタイトルやサブシステム番号のいずれかまたはその両方)を提供することを推奨している。

### 3.6 プロトコルクラス

「プロトコルクラス」のパラメータ・フィールドは 1 オクテットパラメータであり、以下のように構成される。

1 から 4 ビットまでは、プロトコルクラスを示し、以下のようにコード化される。

4 3 2 1		
0 0 0 0	クラス 0	
0 0 0 1	クラス 1	
0 0 1 0	クラス 2	#
0 0 1 1	クラス 3	#

1 から 4 ビットがコネクション・オリエンテッド・プロトコルクラス(クラス 2、クラス 3)を示すようにコード化された時には、5 から 8 ビットは予備である。 #

1 から 4 ビットがコネクションレス・プロトコルクラス(クラス 0、クラス 1)を識別するためにコード化された時には、5 から 8 ビットは以下のようにメッセージ処理を規定するために使用される。

ビット	8 7 6 5	
	0 0 0 0	特別なオプションはない
	0 0 0 1	} 予備
	から	
	0 1 1 1	
	1 0 0 0	エラー時メッセージ返送
	1 0 0 1	} 予備
	から	
	1 1 1 1	

3.7 分割/再組立 #

3.8 受信シーケンス番号 #

3.9 順序制御/分割 #



3.10 クレジット #

3.11 切断理由 #

3.12 返送理由

ユニットデータサービスメッセージ、拡張ユニットデータサービスメッセージ、あるいは、ロングユニットデータサービスメッセージ #  
の中で、「返送理由」パラメータフィールドは1オクテットフィールドでメッセージ返送理由を含む。ビット1 - 8は以下のようにコード化されている。

ビット	8	7	6	5	4	3	2	1		
	0	0	0	0	0	0	0	0	アドレスの性質上翻訳不可	
	0	0	0	0	0	0	0	1	特殊なアドレスのため翻訳不可	
	0	0	0	0	0	0	0	1	0	サブシステム輻輳
	0	0	0	0	0	0	0	1	1	サブシステム障害
	0	0	0	0	0	1	0	0	0	未実装ユーザ
	0	0	0	0	0	1	0	1	0	M T P 障害
	0	0	0	0	0	1	1	0	0	ネットワーク輻輳
	0	0	0	0	0	1	1	1	0	無資格
	0	0	0	0	1	0	0	0	0	メッセージ転送時のエラー 注)
	0	0	0	0	1	0	0	1	0	ローカル処理時のエラー 注)
	0	0	0	0	1	0	1	0	0	着側での再組立不可 注)
	0	0	0	0	1	0	1	1	0	S C C P 障害
	0	0	0	0	1	1	0	0	0	ホップカウンタ違反
	0	0	0	0	1	1	0	1	0	分割機能サポートせず #
	0	0	0	0	1	1	1	0	0	分割失敗
	0	0	0	0	1	1	1	1	1	} 予備
					から					
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

注) X U D T ( S )メッセージに対してのみ適用する。

3.13 リセット理由 #

3.14 誤り理由 #

3.15 拒否理由 #

3.16 データ

「データ」パラメータフィールドは、可変長フィールドでS C C Pユーザ機能間で透過的に転送される255オクテット以下のS C C Pユーザデータを含む。

### 3.17 分割

8	7	6	5	4	3	2	1	
F	C	予備		残りのセグメント				オクテット1
分割ローカル参照							オクテット2	オクテット3
							オクテット4	

オクテット1の8ビット目は、最初のセグメントの表示に使用され、以下のようにコード化される。

- 0 最初のセグメント以外
- 1 最初のセグメント

オクテット1の7ビット目は、SCCPユーザの要求した順序制御オプションを表示し、以下のようにコード化される。

- 0 クラス0選択
- 1 クラス1選択

オクテット1の6ビット目と5ビット目は予備である。

オクテット1の4ビット目から1ビット目は残りのセグメントの数を示す。0000から1111が使用可能で0000は最終セグメントを示す。

### 3.18 ホップカウンタ

8	7	6	5	4	3	2	1
ホップカウンタ							

ホップカウンタパラメータは1オクテットである。ホップカウンタは、グローバルタイトル翻訳が行われるごとに減算され、15から1の値を取る。

### 3.19 重要性

#

### 3.20 ロングデータ

#

## 4 . S C C Pメッセージとコード

### 4.1 概要

4.1.1 以下の節においてSCCPメッセージのフォーマットとコーディングが規定される。

各メッセージに対して関連するパラメータの一覧は表形式で与えられる。

4.1.2 各パラメータについて、この一覧表は次のものも含む。

- パラメータの内容のフォーマットとコードを規定している節への参照。
- パラメータのタイプ。一覧表では次のタイプが使用される。

F = 固定長必須パラメータ  
V = 可変長必須パラメータ  
O = 固定長または可変長のオプションパラメータ

- パラメータ長。この一覧表中の値は次のものを含む。
  - タイプFのパラメータに対しては、オクテット単位のパラメータ内容の長さ。
  - タイプVのパラメータに対しては、オクテット単位の長さ表示とパラメータ内容を合わせた長さ。  
(最小長と最大長を示す。)
  - タイプOのパラメータに対しては、オクテット単位のパラメータ名、長さ表示とパラメータ内容を合わせた長さ。(可変長パラメータに対しては、最小長と最大長を示す。)

4.1.3 各々のメッセージに含まれるポインタの数もまた規定されている。

4.1.4 各々のメッセージ種別に対し、タイプFのパラメータとタイプVのパラメータのポインタを以下の表で規定される順序に従って送信しなければならない。オプションパラメータブロックを指すポインタは可変パラメータを指す全てのポインタの後に現われる。

4.2	接続要求 ( C R )	#
4.3	接続確認 ( C C )	#
4.4	接続拒否 ( C R E F )	#
4.5	切断 ( R L S D )	#
4.6	復旧完了 ( R L C )	#
4.7	データ形式 1 ( D T 1 )	#
4.8	データ形式 2 ( D T 2 )	#
4.9	データ確認 ( A K )	#
4.10	ユニットデータ ( U D T )	
	UDTメッセージは次のものを含む。	
	- ルーチングラベル	
	- 3つのポインタ	
	- 表4 - 1 / J T - Q 7 1 3で示されるパラメータ	

表4 - 1 / J T - Q 7 1 3 メッセージ種別：ユニットデータ  
(ITU-T Q.713)

パラメータ	参照節	タイプ	長さ(オクテット)
メッセージ種別	2.1	F	1
プロトコルクラス	3.6	F	1
着信アドレス	3.4	V	最小3
発信アドレス	3.5	V	最小2 注2)
データ	3.16	V	2 - X 注1)

注1) S C C Pの着信アドレスと発信アドレスに関しては検討中であり、このパラメータの最大長は今後の課題である。S C C Pの着信アドレスと発信アドレスとがグローバルタイトルを含まないときは、255オクテットまでのユーザデータの転送が許容される。

注2) 長さが2になるのは、3.5節で述べられるアドレス情報=00000000の特殊の場合に限られる。

#### 4.11 ユニットデータサービス(UDTS)

UDTSメッセージは次のものを含む。

- ルーティングラベル
- 3つのポインタ
- 表4 - 2 / J T - Q 7 1 3で示されるパラメータ

表4 - 2 / J T - Q 7 1 3 メッセージ種別：ユニットデータサービス  
(ITU-T Q.713)

パラメータ	参照節	タイプ	長さ(オクテット)
メッセージ種別	2.1	F	1
返送理由	3.12	F	1
着信アドレス	3.4	V	最小3
発信アドレス	3.5	V	最小3
データ	3.16	V	2 - X 注)

注) 表4 - 1 / J T - Q 7 1 3の 注1)を参照

#### 4.12 優先データ(ED) #

#### 4.13 優先データ確認(EA) #

#### 4.14 リセット要求(RSR) #

- 4.15 リセット確認 ( R S C ) #
- 4.16 プロトコルデータユニット誤り ( E R R ) #
- 4.17 不活性試験 ( I T ) #
- 4.18 拡張ユニットデータ ( X U D T )
- X U D Tメッセージは次のものを含む。
- ルーチングラベル
  - 4つのポインタ
  - 表4 - 3 / J T - Q 7 1 3で示されるパラメータ

表4 - 3 / J T - Q 7 1 3 メッセージ種別：拡張ユニットデータ  
(ITU-T Q.713)

パラメータ	参照節	タイプ	長さ(オクテット)
メッセージ種別	2.1	F	1
プロトコルクラス	3.6	F	1
ホップカウンタ	3.18	F	1
着信アドレス	3.4	V	最小3
発信アドレス	3.5	V	最小3 注3)
データ	3.16	V	2 - Y+1 注1)
分割	3.17	O	6 注2)
重要性	3.19	O	3
オプションパラメータ終了	3.1	O	1

注1) このパラメータの最大長は今後の課題である。着信アドレス、発信アドレスパラメータとオプションパラメータの存在に依存する。Yは160から254までの間である。Yは着信アドレスや発信アドレスパラメータがグローバルタイトルを含まず、かつ

重要性と #

分割パラメータが存在しないとき、254になり得る。

Yは分割パラメータが含まれ、

重要性パラメータが含まれない #

とき、最大247になり得る。

ITU-T 勧告 Q.715 節 8.3.2 参照。 #

注2) このパラメータは単体のX U D Tメッセージでは存在しない。

注3) 節 3.5 で述べられるアドレス情報=00000000の特殊の場合に、最小長2になるだろう。

#### 4.19 拡張ユニットデータサービス ( X U D T S )

X U D T Sメッセージは次のものを含む。

- ルーティングラベル
- 4つのポインタ
- 表4 - 4 / J T - Q 7 1 3で示されるパラメータ

表4 - 4 / JT - Q 7 1 3 メッセージ種別：拡張ユニットデータサービス  
(ITU-T Q.713)

パラメータ	参照節	タイプ	長さ(オクテット)
メッセージ種別	2.1	F	1
返送理由	3.12	F	1
ホップカウンタ	3.18	F	1
着信アドレス	3.4	V	最小3
発信アドレス	3.5	V	最小3
データ	3.16	V	2 - Y+1(注)
分割	3.17	O	6
オプションパラメータ終了	3.1	O	1

(注) このパラメータの最大長は、着信アドレス、発信アドレスパラメータとオプションパラメータの存在に依存する。Y は 160 から 254 までの間である。Y は着信アドレスや発信アドレスパラメータがグローバルタイトルを含まず、かつ

重要性と #

分割パラメータが存在しないとき、254 になり得る。

Y は分割パラメータが含まれ、

重要性パラメータが含まれない #

とき、最大 247 になり得る。

ITU-T 勧告 Q.715 節 8.3.2 参照。 #

4.20 ロングユニットデータ(LUDT) #

4.21 ロングユニットデータサービス(LUDTS) #

5 . S C C P 管理メッセージとコード #

付属資料A 理由パラメータ値のマッピング

#

付属資料B 国際用SCCPアドレスとフォーマット

#

付録 1 : 移動通信用着信アドレス、発信アドレスの構成

\*

移動通信網において使用されるグローバルタイトルの構成を T T C 標準 J J - 7 0 . 1 0 付録 2 に示す。  
なお、本付録 1 はナショナルマター項目である。



付録 2 : 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成

( 1 つの信号網相互接続点により信号網接続を行う場合 )

\*

この付録は信号網接続した網間で、GT ルーティングを行う場合の、着信アドレス、及び発信アドレスの構成の一例を示す。ただし、本例は 1 つの信号網相互接続点により信号網接続を行う場合にのみ適用される。なお、本付録 2 はナショナルマター項目である。

1 . 第 1 アクセス信号の構成

信号網接続における網間の一連の信号送受の最初の信号を第 1 アクセス信号と呼ぶ。付図 2 - 4 を参照。

1.1 着アドレスの構成

第 1 アクセス信号の着アドレスの構成を付図 2 - 1 / J T - Q 7 1 3 に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1
オケット							
0	(国内 使用のため 留保)	ルーティング 識別子	グローバルタイトル識別子 (GTI)		サブシステ ム番号識別 子	信号局コー ド識別子	1
信号局コード							2
サブシステム番号							3
翻訳タイプ							4
事業者識別コード							5
(第 1 デジット)							6
(最終デジット)							7
偶奇表示	予備						8
サービス識別情報							9
(第 1 デジット)							10
フィラー (必要な場合)							19
(最終デジット)							19

付図 2 - 1 / J T - Q 7 1 3 第 1 アクセス信号の着アドレスの構成

- (1) ルーティング識別子  
コーディング : 0 : ルーティングは GT に基づく
- (2) グローバルタイトル識別子 (GTI)  
コーディング : 0010 : グローバルタイトルは翻訳タイプのみを含む
- (3) サブシステム番号識別子  
コーディング : 1 : サブシステム番号が含まれる
- (4) 信号局コード識別子  
コーディング : 0 : 信号局コードなし or 1 : 信号局コードあり
- (5) 信号局コード  
コーディング : 信号局コード  
送信側が必要に応じて設定する。  
網間において送出された場合、受信側は PC を無視する。

- (6) サブシステム番号(SSN)  
コーディング：SCCP ユーザの SSN を設定する。
- (7) 翻訳タイプ  
コーディング：1110 1000：事業者識別コード+サービス識別情報（信号網接続）
- (8) 事業者識別コード、偶奇表示、サービス識別情報

アドレス情報中のフィールドの設定について、付表 2 - 1 / J T - Q 7 1 3 に示す。

付表 2 - 1 / J T - Q 7 1 3 アドレス情報中の各フィールドの設定

フィールド	M/O	規定長	BIN/BCD	備 考
事業者識別コード	M	固定長 (2 オクテット)	BCD	信号の受信側の事業者識別コードを設定する
偶奇表示	M	1 ビット	BIN	0：偶数のサービス識別情報 1：奇数のサービス識別情報
サービス識別情報	M	1~11 オクテット	BCD	内容として「サービス識別コード」と「サービス固有情報」を含む 注1)

注 1) サービス識別情報の設定は以下のとおり

フィールド	M/O	規定長	BIN/BCD	備 考
サービス識別コード	M	1 オクテット	BCD	0~9 に加えて A~F(H) も使用する。 00(H) と FF(H) は拡張用予備。
サービス固有情報	0	1~10 オクテット	BCD	番号情報を設定することを想定 事業者識別コード、サービス識別コードと重複する番号情報は原則削除する。

## 1.2 発アドレスの構成

第 1 アクセス信号の発アドレスの構成を付図 2 - 2 / J T - Q 7 1 3 に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1
オクテット							
0 (国内 使用のため 留保)	ルーティング 識別子	グローバルタイトル識別子 (GTI)			サブシステム 番号識別 子	信号局コー ド識別子	1
信号局コード							2
サブシステム番号							3
翻訳タイプ							4
事業者識別コード							5
(最終ディジット)							6
(第 1 デジット)							7
網内情報							8
							15

付図 2 - 2 / J T - Q 7 1 3 第 1 アクセス信号の発アドレスの構成

- (1) ルーティング識別子  
コーディング：0：ルーティングは GT に基づく

- (2) グローバルタイトル識別子 (GTI)  
コーディング：0010：グローバルタイトルは翻訳タイプのみを含む
- (3) サブシステム番号識別子  
コーディング：1：サブシステム番号が含まれる
- (4) 信号局コード識別子  
コーディング：0：信号局コードなし or 1：信号局コードあり
- (5) 信号局コード  
コーディング：信号局コード  
XUDT を送出した同一網内において異常を検出した場合に、XUDTS を返送する PC を設定する等の用途に用いる。網間において送出された場合、受信側は PC を無視する。
- (6) サブシステム番号 (SSN)  
コーディング：SCCP ユーザの SSN を設定する。
- (7) 翻訳タイプ  
コーディング：1110 1001：事業者識別コード + 網内情報 (信号網接続)
- (8) 事業者識別コード、網内情報

アドレス情報中の各フィールドの設定について、付表 2 - 2 / J T - Q 7 1 3 に示す。

付表 2 - 2 / J T - Q 7 1 3 アドレス情報中の各フィールドの設定

フィールド	M/O	規定長	BIN/BCD	備 考
事業者識別コード	M	固定長 (2 オクテット)	BCD	信号の送信側の事業者識別コードを設定する
網内情報	0	1~8 オクテット	Don t Care	信号の送信側の網内のルーチングに必要な情報を設定する。受信側網では Don t Care

## 2. 第2アクセス信号以降の信号の構成

信号接続における網間の一連の信号送受の2番目の信号を第2アクセス信号と呼ぶ。付図2-4を参照。  
第3アクセス信号以降も同様。

### 2.1 着アドレスの構成

第2アクセス信号以降の信号の着アドレスの構成を付図2-3/JT-Q713に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1
カセット							
0 (国内 使用のため 留保)		ルーチング 識別子	グローバルタイトル識別子 (GTI)		サブシステ ム番号識別 子	信号局コー ド識別子	
信号局コード							
サブシステム番号							
翻訳タイプ							
事業者識別コード (最終ディジット)				(第1ディジット)			
網内情報							

付図2-3/JT-Q713 第2アクセス信号以降の着アドレスの構成

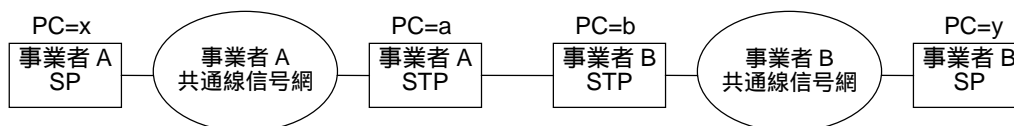
前回の信号の発アドレスに設定された情報と同一内容を設定する。ただし信号局コードは設定しなくても良い。

### 2.2 発アドレスの構成

第2アクセス信号以降の信号の発アドレスの構成は、第1アクセス信号の発アドレスの構成と同一であり、付図2-2/JT-Q713に示される。

## 3. 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成

付図2-4/JT-Q713に信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成を示す。



第 1 アクセス信号  
→

MTP	DPC	B		
	OPC	A		
SCCP 着	アドレス識別子	ルーチング識別子	0:ルーチングはGTに基づく	
		グローバルタイトル識別子	0010:GTは翻訳タイプのみを含む	
		サブシステム番号識別子	1:サブシステム番号が含まれる	
		信号局コード識別子	0:信号局コードなし/1:信号局コードあり	
	信号局番号	(信号局コード)		
	サブシステム番号	SCCPユーザのSSNを設定		
	翻訳タイプ	1110 1000:事業者識別コード+サービス識別情報(信号網接続)		
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者Bの識別コード	
		偶奇表示	0:偶数/1:奇数	
		サービス識別情報	サービス識別コード サービス固有情報	
SCCP 発	アドレス識別子	ルーチング識別子	0:ルーチングはGTに基づく	
		グローバルタイトル識別子	0010:GTは翻訳タイプのみを含む	
		サブシステム番号識別子	1:サブシステム番号が含まれる	
		信号局コード識別子	0:信号局コードなし/1:信号局コードあり	
	信号局番号	(信号局コード)		
	サブシステム番号	SCCPユーザのSSNを設定		
	翻訳タイプ	1110 1001:事業者識別コード+網内情報(信号網接続)		
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者Aの識別コード	
		網内情報	事業者Aの網内ルーチングに必要な情報	

付図 2 - 4 / J T - Q 7 1 3 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成

第2アクセス信号



MTP	DPC	A
	OPC	B

SCCP 着	アドレス識別子	ルーチング識別子	0:ルーチングはGTに基づく
		グローバルタイトル識別子	0010:GTは翻訳タイプのみを含む
		サブシステム番号識別子	1:サブシステム番号が含まれる
		信号局コード識別子	0:信号局コードなし/1:信号局コードあり
	信号局番号	(信号局コード)	
	サブシステム番号	SCCPユーザのSSNを設定	
	翻訳タイプ	1110 1000:事業者識別コード+網内情報(信号網接続)	
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者Aの識別コード
	網内情報	事業者Aの網内ルーチングに必要な情報	
SCCP 発	アドレス識別子	ルーチング識別子	0:ルーチングはGTに基づく
		グローバルタイトル識別子	0010:GTは翻訳タイプのみを含む
		サブシステム番号識別子	1:サブシステム番号が含まれる
		信号局コード識別子	0:信号局コードなし/1:信号局コードあり
	信号局番号	(信号局コード)	
	サブシステム番号	SCCPユーザのSSNを設定	
	翻訳タイプ	1110 1001:事業者識別コード+網内情報(信号網接続)	
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者Bの識別コード
	網内情報	事業者Bの網内ルーチングに必要な情報	

第1アクセス信号の発アドレス情報と同一内容

第3アクセス信号



MTP	DPC	B
	OPC	A

SCCP 着	アドレス識別子	ルーチング識別子	0:ルーチングはGTに基づく
		グローバルタイトル識別子	0010:GTは翻訳タイプのみを含む
		サブシステム番号識別子	1:サブシステム番号が含まれる
		信号局コード識別子	0:信号局コードなし/1:信号局コードあり
	信号局番号	(信号局コード)	
	サブシステム番号	SCCPユーザのSSNを設定	
	翻訳タイプ	1110 1001:事業者識別コード+網内情報(信号網接続)	
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者Bの識別コード
	網内情報	事業者Bの網内ルーチングに必要な情報	
SCCP 発	アドレス識別子	ルーチング識別子	0:ルーチングはGTに基づく
		グローバルタイトル識別子	0010:GTは翻訳タイプのみを含む
		サブシステム番号識別子	1:サブシステム番号が含まれる
		信号局コード識別子	0:信号局コードなし/1:信号局コードあり
	信号局番号	(信号局コード)	
	サブシステム番号	SCCPユーザのSSNを設定	
	翻訳タイプ	1110 1001:事業者識別コード+網内情報(信号網接続)	
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者Aの識別コード
	網内情報	事業者Aの網内ルーチングに必要な情報	

第2アクセス信号の発アドレス情報と同一内容

付図2 - 4 / J T - Q 7 1 3 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成 ( 続き )

付録 3： 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成

\*

この付録は信号網接続した網間で、GT ルーチングを行う場合の、着信アドレス、及び発信アドレスの構成の一例を示す。なお、本付録 3 はナショナルマター項目である。

1. 第 1 アクセス信号の構成

信号網接続における網間の一連の信号送受の最初の信号を第 1 アクセス信号と呼ぶ。付図 3 - 4 を参照。

1.1 着アドレスの構成

第 1 アクセス信号の着アドレスの構成を付図 3 - 1 / J T - Q 7 1 3 に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1
オケット							
0	(国内 使用のため 留保)	ルーチング 識別子	グローバルタイトル識別子 (GTI)		サブシステ ム番号識別 子	信号局コー ド識別子	1
信号局コード							2
サブシステム番号							3
翻訳タイプ							4
事業者識別コード							5
(最終ディジット)							6
(第 1 ディジット)							7
信号網相互接続点選択情報							8
(最終ディジット)							9
偶奇表示 予備							10
サービス識別情報							11
(第 1 ディジット)							21
フィラー (必要な場合)							(最終ディジット)

付図 3 - 1 / J T - Q 7 1 3 第 1 アクセス信号の着アドレスの構成

- (1) ルーチング識別子  
コーディング：0：ルーチングは GT に基づく
- (2) グローバルタイトル識別子 (GTI)  
コーディング：0010：グローバルタイトルは翻訳タイプのみを含む
- (3) サブシステム番号識別子  
コーディング：1：サブシステム番号が含まれる
- (4) 信号局コード識別子  
コーディング：0：信号局コードなし or 1：信号局コードあり
- (5) 信号局コード  
コーディング：信号局コード

送信側が必要に応じて設定する。

網間において送出された場合、受信側は PC を無視する。

(6) サブシステム番号(SSN)

コーディング：SCCP ユーザの SSN を設定する。

(7) 翻訳タイプ

コーディング：1110 0110：事業者識別コード + 信号網相互接続点選択情報 + サービス識別情報  
(信号網接続)

(8) 事業者識別コード、信号網相互接続点選択情報、偶奇表示、サービス識別情報

アドレス情報中のフィールドの設定について、付表 3 - 1 / J T - Q 7 1 3 に示す。

付表 3 - 1 / J T - Q 7 1 3 アドレス情報中の各フィールドの設定

フィールド	M/O	規定長	BIN/BCD	備 考
事業者識別コード	M	固定長 (2 オクテット)	BCD	信号の受信側の事業者識別コードを設定する
信号網相互接続点選択情報	M	固定長 (2 オクテット)	BCD	信号の受信側の事業者の信号網相互接続点情報を設定する
偶奇表示	M	1 ビット	BIN	0：偶数のサービス識別情報 1：奇数のサービス識別情報
サービス識別情報	M	1~11 オクテット	BCD	内容として「サービス識別コード」と「サービス固有情報」を含む 注1)

注1) サービス識別情報の設定は以下のとおり

フィールド	M/O	規定長	BIN/BCD	備 考
サービス識別コード	M	1 オクテット	BCD	0~9 に加えて A~F(H) も使用する。 00(H) と FF(H) は拡張用予備。
サービス固有情報	0	1~10 オクテット	BCD	番号情報を設定することを想定 事業者識別コード、サービス識別コードと重複する番号情報は原則削除する。

## 1.2 発アドレスの構成

第1 アクセス信号の発アドレスの構成を付図 3 - 2 / J T - Q 7 1 3 に示す。



パケット

0 (国内 使用のため 留保)	ルーチング 識別子	グローバルタイトル識別子 (GTI)	サブシステ ム番号識別 子	信号局コー ド識別子	1
信号局コード					2
サブシステム番号					3
翻訳タイプ					4
事業者識別コード					5
(最終ディジット)					6
(第1ディジット)					7
信号網相互接続点選択情報					8
(最終ディジット)					9
網内情報					10
					17

付図3 - 2 / JT - Q713 第1アクセス信号の発アドレスの構成

- (1) ルーチング識別子  
コーディング：0：ルーチングはGTに基づく
- (2) グローバルタイトル識別子 (GTI)  
コーディング：0010：グローバルタイトルは翻訳タイプのみを含む
- (3) サブシステム番号識別子  
コーディング：1：サブシステム番号が含まれる
- (4) 信号局コード識別子  
コーディング：0：信号局コードなし or 1：信号局コードあり
- (5) 信号局コード  
コーディング：信号局コード  
XUDT を送出した同一網内において異常を検出した場合に、XUDTS を返送する PC を設定する等の用途に用いる。網間において送出された場合、受信側は PC を無視する。
- (6) サブシステム番号 (SSN)  
コーディング：SCCP ユーザの SSN を設定する。
- (7) 翻訳タイプ  
コーディング：1110 0111：事業者識別コード + 信号網相互接続点選択情報 + 網内情報 (信号網接続)
- (8) 事業者識別コード、信号網相互接続点選択情報、網内情報

アドレス情報中の各フィールドの設定について、付表3 - 2 / J T - Q 7 1 3 に示す。

付表3 - 2 / J T - Q 7 1 3 アドレス情報中の各フィールドの設定

フィールド	M/O	規定長	BIN/BCD	備 考
事業者識別コード	M	固定長 (2 オクテット)	BCD	信号の送信側の事業者識別コードを設定する
信号網相互接続点識別情報	M	固定長 (2 オクテット)	BCD	信号の送信側の事業者の信号網相互接続点情報を設定する
網内情報	0	1~8 オクテット	Don t Care	信号の送信側の網内のルーチングに必要な情報を設定する。受信側網では Don t Care

## 2 . 第2 アクセス信号以降の信号の構成

信号接続における網間の一連の信号送受の2番目の信号を第2アクセス信号と呼ぶ。付図3 - 4 を参照。  
第3アクセス信号以降も同様。

### 2.1 着アドレスの構成

第2アクセス信号以降の信号の着アドレスの構成を付図3 - 3 / J T - Q 7 1 3 に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1
オクテット							
0	(国内 使用のため 留保)	ルーチング 識別子	グローバルタイトル識別子 (GTI)		サブシステ ム番号識別 子	信号局コー ド識別子	1
信号局コード							2
サブシステム番号							3
翻訳タイプ							4
事業者識別コード							5
(最終ディジット)							6
信号網相互接続点選択情報							7
(最終ディジット)							8
網内情報							9
							10
							17

付図3 - 3 / J T - Q 7 1 3 第2アクセス信号以降の着アドレスの構成

前回の信号の発アドレスに設定された情報と同一内容を設定する。ただし信号局コードは設定しなくても良い。

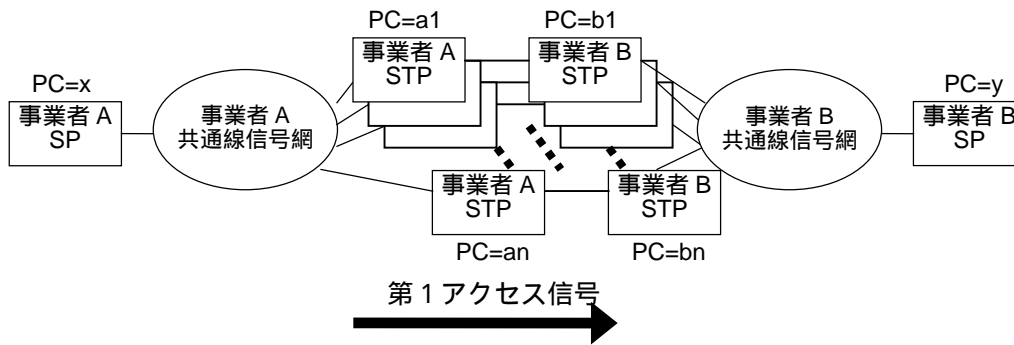
### 2.2 発アドレスの構成

第2アクセス信号以降の信号の発アドレスの構成は、第1アクセス信号の発アドレスの構成と同一であり、付図3 - 2 / J T - Q 7 1 3 に示される。

## 3 . 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成

付図3 - 4 / J T - Q 7 1 3 に信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成を示す。

(特定の STP ペア(PC=a1、b1)を通過する場合の例)



MTP	DPC	b1
	OPC	a1

SCCP 着	アドレス識別子	ルーチング識別子	0:ルーチングはGTに基づく	
		グローバルタイトル識別子	0010:GTは翻訳タイプのみを含む	
		サブシステム番号識別子	1:サブシステム番号が含まれる	
		信号局コード識別子	0:信号局コードなし/1:信号局コードあり	
	信号局番号	(信号局コード)		
	サブシステム番号	SCCPユーザのSSNを設定		
	翻訳タイプ	1110 0110:事業者識別コード+信号網相互接続点選択情報+サービス識別情報(信号網接続)		
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者Bの識別コード	
		信号網相互接続点選択情報	事業者Bの信号網相互接続点選択に必要な情報(注1) 事業者間の合意に基づく4桁の値を設定(ランダム数値(適切な情報数とする)もしくは固定値(例:信号局を一意に特定する番号、サービス固有情報の上位桁など))	
		偶奇表示	0:偶数/1:奇数	
サービス識別情報	サービス識別コード サービス固有情報			
SCCP 発	アドレス識別子	ルーチング識別子	0:ルーチングはGTに基づく	
		グローバルタイトル識別子	0010:GTは翻訳タイプのみを含む	
		サブシステム番号識別子	1:サブシステム番号が含まれる	
		信号局コード識別子	0:信号局コードなし/1:信号局コードあり	
	信号局番号	(信号局コード)		
	サブシステム番号	SCCPユーザのSSNを設定		
	翻訳タイプ	1110 0111:事業者識別コード+信号網相互接続点選択情報+網内情報(信号網接続)		
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者Aの識別コード	
		信号網相互接続点選択情報	事業者Aの信号網相互接続点選択に必要な情報 事業者間の合意に基づく4桁の値を設定(ランダム数値(適切な情報数とする)もしくは固定値(例:信号局を一意に特定する番号、サービス固有情報の上位桁など)) 注1)	
		網内情報	事業者Aの網内ルーチングに必要な情報	

注1)本情報に基づく複数信号網相互接続点間に跨る信号管理(迂回など)は想定していない。

付図3-4/JT-Q713 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成

第2 アクセス信号



MTP	DPC	a1
	OPC	b1

SCCP 着	アドレス識別子	ルーチング 識別子	0 : ルーチング は GT に基づく	
		グローバル ルータ識別子	0010 : GT は翻訳タイプ のみを含む	
		サブシステム番号 識別子	1 : サブシステム番号が含まれる	
		信号局コード 識別子	0 : 信号局コード なし / 1 : 信号局コード あり	
	信号局番号	(信号局コード)		
	サブシステム番号	SCCP ユーザの SSN を設定		
	翻訳タイプ	1110 0111 : 事業者識別コード + 信号網相互接続点選択情報 + 網内情報 (信号網接続)		
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者 A の識別コード	
		信号網相互接続点選択情報	事業者 A の信号網相互接続点選択に必要な情報	
		網内情報	事業者 A の網内ルーチングに必要な情報	
SCCP 発	アドレス識別子	ルーチング 識別子	0 : ルーチング は GT に基づく	
		グローバル ルータ識別子	0010 : GT は翻訳タイプ のみを含む	
		サブシステム番号 識別子	1 : サブシステム番号が含まれる	
		信号局コード 識別子	0 : 信号局コード なし / 1 : 信号局コード あり	
	信号局番号	(信号局コード)		
	サブシステム番号	SCCP ユーザの SSN を設定		
	翻訳タイプ	1110 0111 : 事業者識別コード + 信号網相互接続点選択情報 + 網内情報 (信号網接続)		
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者 B の識別コード	
		信号網相互接続点選択情報	事業者 B の信号網相互接続点選択に必要な情報	
		網内情報	事業者 B の網内ルーチングに必要な情報	

第1アクセス信号の発4アドレス情報と同一内容

付図3 - 4 / JT - Q713 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成 (続き)

第3 アクセス信号



MTP	DPC	b1
	OPC	a1

SCCP 着	アドレス識別子	ルーチング識別子	0:ルーチングはGTに基づく
		グローバルタイトル識別子	0010:GTは翻訳タイプのみを含む
		サブシステム番号識別子	1:サブシステム番号が含まれる
		信号局コード識別子	0:信号局コードなし/1:信号局コードあり
	信号局番号		(信号局コード)
	サブシステム番号		SCCPユーザのSSNを設定
	翻訳タイプ		1110 0111:事業者識別コード+信号網相互接続点選択情報+網内情報(信号網接続)
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者Bの識別コード
		信号網相互接続点選択情報	事業者Bの信号網相互接続点選択に必要な情報
		網内情報	事業者Bの網内ルーチングに必要な情報
SCCP 発	アドレス識別子	ルーチング識別子	0:ルーチングはGTに基づく
		グローバルタイトル識別子	0010:GTは翻訳タイプのみを含む
		サブシステム番号識別子	1:サブシステム番号が含まれる
		信号局コード識別子	0:信号局コードなし/1:信号局コードあり
	信号局番号		(信号局コード)
	サブシステム番号		SCCPユーザのSSNを設定
	翻訳タイプ		1110 0111:事業者識別コード+信号網相互接続点選択情報+網内情報(信号網接続)
	アドレス情報	事業者識別コード	事業者Aの識別コード
		信号網相互接続点選択情報	事業者Aの信号網相互接続点選択に必要な情報
		網内情報	事業者Aの網内ルーチングに必要な情報

第2アクセス信号の発アドレス情報と同一内容

付図3 - 4 / JT - Q 7 1 3 信号網接続用着信アドレス、発信アドレスの構成 (続き)

付録 4 : C D M A 方式携帯自動車電話システム及び第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) のノード間インタフェース信号方式用着信アドレス、発信アドレスの構成

\*

この付録はC D M A 移動通信網 ( J J - 7 0 . 1 1 ) 及び第三世代移動通信網 ( J P - 3 G B - N シリーズ) においてG T ルーチングを行う場合の、着信アドレス、及び発信アドレスの構成の一例を示す。なお、本付録 4 はナショナルマター項目である。

1 . 第 1 アクセス信号の構成

C D M A 方式携帯自動車電話にける網間の一連の信号送受の最初の信号を第 1 アクセス信号と呼ぶ。付図 4 - 4 を参照。

1.1 着アドレスの構成

第 1 アクセス信号の着アドレスの構成を付図 4 - 1 / J T - Q 7 1 3 に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1
オクテット							
0 (国内 使用のため 留保)		ルーチング 識別子	グローバルタイトル識別子 (GTI)		サブシステ ム番号識別 子	信号局コー ド識別子	
信号局コード							
サブシステム番号							
翻訳タイプ							
アドレス情報				(第1ディジット)			
(最終ディジットまたはフィラー)							
							max. 1 3

付図 4-1 / J T - Q 7 1 3 第 1 アクセス信号の着アドレスの構成

- (1) ルーチング識別子  
コーディング : 0 : ルーチングは GT に基づく
- (2) グローバルタイトル識別子 (GTI)  
コーディング : 0010 : グローバルタイトルは翻訳タイプのみを含む
- (3) サブシステム番号識別子  
コーディング : 1 : サブシステム番号が含まれる
- (4) 信号局コード識別子  
コーディング : 0 : 信号局コードなし or 1 : 信号局コードあり
- (5) 信号局コード  
コーディング : 信号局コード  
送信側が必要に応じて設定する。  
網間において送出された場合、受信側は P C を無視する。

- (6) サブシステム番号(SSN)  
 コーディング：SCCP ユーザの SSN を設定する。
- (7) 翻訳タイプ  
 コーディング：1110 0000：E.164 to SCP（第三世代移動通信システム（ANSI evolved network）用）  
 コーディング：1110 0001：E.164 to HLR（第三世代移動通信システム（ANSI evolved network）用）  
 コーディング：1110 0010：E.212 to HLR（第三世代移動通信システム（ANSI evolved network）用）  
 コーディング：1110 0011：E.212 to MC（第三世代移動通信システム（ANSI evolved network）用）  
 コーディング：1110 0100：MIN to HLR（CDMA 方式携帯自動車電話用）  
 コーディング：1110 0101：MIN to MC（CDMA 方式携帯自動車電話用）
- (8) アドレス情報  
 10 桁の Mobile Identification Number、E.212 番号、E.164 番号の何れかの 1 つを翻訳タイプに応じて設定する。

アドレス情報中のフィールドの設定について、付表 4 - 1 / J T - Q 7 1 3 に示す。

付表 4 - 1 / J T - Q 7 1 3 アドレス情報中のフィールドの設定

フィールド	M/O	規定長	BIN/BCD	備 考
Mobile Identification Number	M	固定長 (5 オクテット)	BCD	Mobile Identification Number (CDMA 方式携帯自動車電話用) を設定。
E.212 番号	翻訳タイプに応じた何れかの 1 つ	可変長 (最大 8 オクテット)	BCD	E.212 International Mobile Subscriber Identity を設定。
E.164 番号		可変長 (最大 8 オクテット)	BCD	E.164 International public telecommunication number を設定。

## 1.2 発アドレスの構成

第 1 アクセス信号の発アドレスの構成を付図 4 - 2 / J T - Q 7 1 3 に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1
オクテット							
0	(国内ルーチング使用のため留保)	ルーチング識別子	グローバルタイトル識別子 (GTI)		サブシステム番号識別子	信号局コード識別子	1
信号局コード							2
サブシステム番号							3
サブシステム番号							4

付図 4 - 2 / J T - Q 7 1 3 第 1 アクセス信号の発アドレスの構成

(1) ルーチング識別子

コーディング：1：ルーチングは SSN に基づく

(2) グローバルタイトル識別子 (GTI)

コーディング：0000：グローバルタイトルは含まれない

(3) サブシステム番号識別子

コーディング：1：サブシステム番号が含まれる

(4) 信号局コード識別子

コーディング：1：信号局コードあり

(5) 信号局コード

コーディング：信号局コード

(6) サブシステム番号(SSN)

コーディング：SCCP ユーザの SSN を設定する。

## 2. 第2アクセス信号の構成

C D M A方式携帯自動車電話にける網間の一連の信号送受の2番目の信号を第2アクセス信号と呼ぶ。付図4-4を参照。

### 2.1 着アドレスの構成

第2アクセス信号の着アドレスの構成を付図4-3/J T - Q 7 1 3に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1	
オケット								
0 (国内 使用のため 留保)		ルーチング 識別子	グローバルタイトル識別子 (GTI)			サブシステ ム番号識別 子	信号局コー ド識別子	1
信号局コード								2
サブシステム番号								3
								4

付図4-3/J T - Q 7 1 3 第2アクセス信号の着アドレスの構成

第1アクセス信号の発アドレスに設定された情報と同一内容を設定する。ただし信号局コードは設定しなくてもよい。

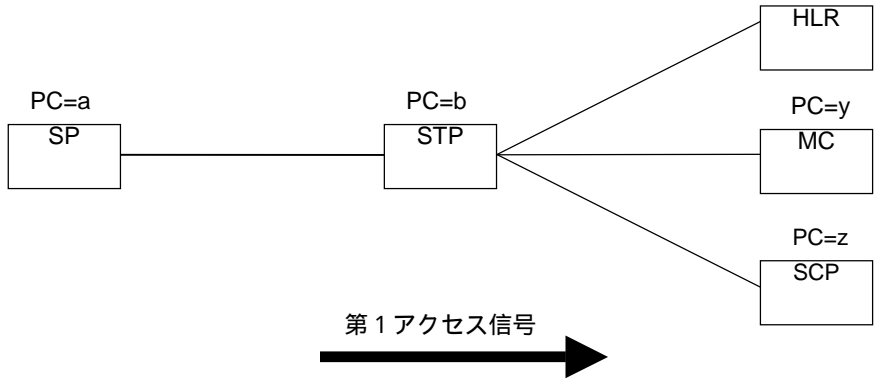
### 2.2 発アドレスの構成

第2アクセス信号の発アドレスの構成は、第1アクセス信号の着アドレスの構成と同一であり、付図4-1/J T - Q 7 1 3に示される。



3 . C D M A方式携帯自動車電話用着信アドレス、発信アドレスの構成

付図4 - 4 / J T - Q 7 1 3 にC D M A方式携帯自動車電話用着信アドレス、発信アドレスの構成を示す。



MTP	DPC	B
	OPC	A

SCCP 着	アドレス識別子	ルーチング識別子	0 : ルーチングはGTに基づく	
		グローバルタイトル識別子	0010 : GTは翻訳タイプのみを含む	
		サブシステム番号識別子	1 : サブシステム番号が含まれる	
		信号局コード識別子	0 : 信号局コードなし / 1 : 信号局コードあり	
	信号局番号	(信号局コード)		
	サブシステム番号	SCCP ユーザのSSNを設定		
	翻訳タイプ	1110 0000 : E.164 to SCP (第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) 用) 1110 0001 : E.164 to HLR (第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) 用) 1110 0010 : E.212 to HLR (第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) 用) 1110 0011 : E.212 to MC (第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) 用) 1110 0100 : MIN to HLR (CDMA 方式携帯自動車電話用) 1110 0101 : MIN to MC (CDMA 方式携帯自動車電話用)		
	アドレス情報	Mobile Identification Number	Mobile Identification Number (CDMA 方式携帯自動車電話用, 10桁を設定)	
		E.212 番号	E.212 International Mobile Subscriber Identity を設定	
		E.164 番号	E.164 International public telecommunication number を設定	
SCCP 発	アドレス識別子	ルーチング識別子	1 : ルーチングはSSNに基づく	
		グローバルタイトル識別子	0000 : GTは含まれない	
		サブシステム番号識別子	1 : サブシステム番号が含まれる	
		信号局コード識別子	1 : 信号局コードあり	
	信号局番号	(信号局コード)		
サブシステム番号	SCCP ユーザのSSNを設定			

付図4 - 4 / J T - Q 7 1 3 C D M A方式携帯自動車電話用及び第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) 用の着信アドレス、発信アドレスの構成

第2アクセス信号



MTP	DPC	A
	OPC	x, y or z

SCCP 着	アドレス識別子	ルチング識別子	1: ルチングはSSNに基づく	
		グローバルタイトル識別子	0000: GTは含まれない	
		サブシステム番号識別子	1: サブシステム番号が含まれる	
		信号局コード識別子	1: 信号局コードあり	
	信号局番号	(信号局コード)		
	サブシステム番号	SCCPユーザのSSNを設定		
SCCP 発	アドレス識別子	ルチング識別子	1: ルチングはSSNに基づく	
		グローバルタイトル識別子	0010: GTは翻訳タイプのみを含む	
		サブシステム番号識別子	1: サブシステム番号が含まれる	
		信号局コード識別子	1: 信号局コードあり	
	信号局番号	(信号局コード)		
		サブシステム番号	SCCPユーザのSSNを設定	
		翻訳タイプ	1110 0000: E.164 to SCP (第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) 用) 1110 0001: E.164 to HLR (第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) 用) 1110 0010: E.212 to HLR (第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) 用) 1110 0011: E.212 to MC (第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) 用) 1110 0100: MIN to HLR (CDMA方式携帯自動車電話用) 1110 0101: MIN to MC (CDMA方式携帯自動車電話用)	
	アドレス情報	Mobile Identification Number	Mobile Identification Number (CDMA方式携帯自動車電話用, 10桁)を設定	
		E.212 番号	E.212 International Mobile Subscriber Identityを設定	
		E.164 番号	E.164 International public telecommunication numberを設定	

第1アクセス信号の発アドレス情報と同一内容

付図4 - 4 / JT - Q713 CDMA方式携帯自動車電話用及び第三世代移動通信システム (ANSI evolved network) 用の着信アドレス、発信アドレスの構成 (続き)